

# 駒工エコ街灯が点灯

## 3科3年生12人が共同製作

### 学校南側の通学路に設置

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）の機械、電気、情報技術科の3年生12人でつくる学科間連携共同製作プロジェクトチームは、課題研究で取り組んだ「外気温表示機能を備えたエコロジー街灯」1基を同校南側の通学路に設置した。2月28日に点灯式があり、生徒や職員、地元住民ら約30人が集まって完成を祝った。

#### 日没後5時間照明、外気温も表示

昨年6月ごろ、市内の企業1いと、約30万円の寄付があるから学校教育に役立ててほしい、同校は地元住民にも還元



点灯したエコロジー街灯の下で記念写真に納まる駒工生

5時間後に自動消灯する仕組み。昨夏は暑さに注目が集まったため、外気温

できる夜間照明装置の製作を計画。各科から生徒有志が集まって一つのチームをつくり、街灯のデザインや基礎工事、充放電制御装置の製作、全体のシステム設計などの作業を専門分野ごと担当した。街灯は太陽光発電による電力を蓄電池にためて、発光ダイオード（LED）ライト2灯を日没検出機能で点灯し、

も表示できるようにした。表示器は電磁式を用いることで大幅な省エネが図られ、1回の充電で5日間は点灯できるという。

点灯式で生徒を代表して機械科の山上佑大さん(17)が「皆さんの役に立つことができたい。これまで支援してくれた人たちに感謝したい」とあいさつ。地元代表として招待された福岡区長の今井久文さん(70)は「非常に暗い場所なので設置してもらいたい」と話した。